

環境 につこう

KANKYO NIKKO

No.8

2011/4

発 行 日光市役所市民環境部環境課

〒321-1292

今市本町1番地(本庁第4庁舎1階)

TEL 21-5152 FAX 21-2089

Eメール kankyou@city.nikko.lg.jp



にっこうの環境
土呂部の水芭蕉

くわしくは、各自治会内の環境美化委員さんへご確認ください。
皆さまのご協力をお願いします。

平成23年度からの実施内容

平成23年度からは、春季はポイ捨てされた可燃ごみ・不燃ごみのみ、秋季は不法投棄された粗大ごみ・処理困難ごみを回収対象として開催する予定です。

平成22年度からは全市統一した内容で実施し、昨年の春季・秋季では延べ約2万人の市民の方々の協力により、市内の集団清掃をすることができました。

市民の環境意識の高揚を図り、清潔で快適なまちづくりを推進することを目的に、市主催で年2回実施している市民参加の集団清掃です。

全市クリーン大作戦とは



まちをみんなできれいに! 全市クリーン大作戦

実施内容

	春 季	秋 季
開催時期	6月の第1日曜日	10月～11月までのいずれかの日曜日
回収内容	ポイ捨てされた可燃ごみ・不燃ごみ	不法投棄された粗大ごみ・処理困難ごみ
実施地域	市内全域	市内全域 ※3地域に分けて、各地域1回実施。(計3回)

※秋季実施日については、後日お知らせします。



資源物回収団体への報奨金制度

市では、資源物の回収に協力していただける団体に報奨金を交付する制度を設けています。この制度は、家庭から出る資源物を自主的に回収し、資源物回収業者へ引き渡しを行う団体に報奨金を交付するものです。

交付対象は、地域の住民などで構成する子ども会や自治会、PTAなどの営利を目的としない団体で、制度の利用には資源物回収団体届出の提出が必要となります。



カラスネットの無料貸出しをしています

市では、カラスなどによるごみステーションのごみ散乱防止や、まちの美観維持、ごみ処理の効率化を図るために、カラスネットの無料貸出しを行っています。

貸出しを希望する場合は、各自治会の環境美化委員にご相談のうえ、申請してください。

貸出し条件：各ステーションに1枚（前回貸出から5年以上経過していること）

ネットの大きさ：2m×3mと3m×4mの2種類

環境にやさしい生活へのきっかけづくりとして実施した、につこう冬の“うちエコ”コンテスト。例年以上に厳しい寒さの中、参加した多くのご家族が電気量の削減を達成しました。

各賞の結果や、参加者の取り組みなどをご紹介します。



各賞発表

応募総数

36家族132人

削減賞

(昨年と比較して電気使用量の減少率
が最も著しいもの)

○最優秀賞

(千本木在住の2人家族)

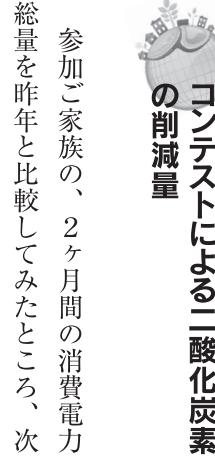
●減少率 30.5%

(土沢在住の5人家族)

●減少率 28.8%

(吉沢在住の4人家族)

※ 一家族当たりの平均減少率は6%でした。



コンテストによる二酸化炭素の削減量

参加ご家族の、2ヶ月間の消費電力総量を昨年と比較してみたところ、次の通り削減効果がありました。

- 優秀賞
- 減少率 30.5%
- 減少率 28.8%

(吉沢在住の4人家族)

※ 一家族当たりの平均減少率は6%でした。

”うちエコ”コンテスト 結果発表!

くわしくは
環境課 環境政策係



電気の削減量：2,465kW
↓
二酸化炭素の削減量：947kg-CO2
↓
67本の杉の木が、年間に吸収する二酸化炭素の量に匹敵！



各家族の取り組み例

- 自然のエネルギーを活用
- 昼の太陽光線を十分取り入れ、暖かさと明るさを使った。
(ライフスタイルを見直す)
- 家族が別々の部屋で過ごすのではなく、一つの部屋での団らんが多いと思う。
- 子供たちに、使っていない電気は消すように教えた。夜は早く寝て、無駄な電気は使わないようにした。

結果を参考に、「家庭で出来るところから省エネ生活を始めてみませんか？

(機器等の使い方を見直す)

● 減少率 28.8%

(吉沢在住の4人家族)

※ 一家族当たりの平均減少率は6%でした。

►コンテスト概要

家族で省エネにチャレンジし、「電気使用量のお知らせ」2ヶ月分を参考に、昨年と比較した電気量の減少率や、一日一人当たりの消費電力量で家族のエコ度を競っていただきました。

際的な取組として、日本を含む193の国と地域により平成5年に「生物多様性条約」が結ばれています。

国内の法律としては「生物多様性基本法」が平成20年に公布され、昨年には「地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律」が成立しました。

美しい生き物も、おいしい食べ物も、その種類だけが地球上にあるわけではなく、多くの生き物の営みに支えられ、お互いに影響しあっています。沢山いる所、あまりいない所もあります。土や水や空気など生き物ではない環境に対しても、大きな影響を受けたり与えたりしています。

生物多様性の保全とは、できるだけ多くの生き物の種や生態系や遺伝子を守っていくことで、人と自然の良好な関係を続けていくことです。
昨年の10月には条約を結ぶ国々が世界中から名古屋市に集まり、第10回国際会議（COP10）を開き「40年後に自然と共生する世界を実現しよう」と合意しました。

その中で日本は、今後10年間は「国連生物多様性の10年」にしようと提案

し、12月の国連総会で決議されました。また、里地・里山を守るという考えを

「SAToyamaイニシアチブ」として世界に発信し、国際的な協力関係を築きました。

身近な里地・里山を守る心が世界を守ります。一人ひとりにできる事は限られているかもしれません。でもその気持ちは世界につながっています。生物多様性のために自分たちにできることは何か、身近な事から考えてみましょう。



Let's think about biodiversity

くわしくは
環境課 環境保全係

生物多様性について



湧水ボランティアの募集

日光市には沢山の湧水があります。これは山地に降った雨が地下水となり長い月日をかけて地上に湧き出したもので、様々な生きものを育み、人々の暮らしを支える河川の源です。ところが近年、生活様式の変化や産業の振興などにより、水のある風景が変わってきています。「湧水ボランティア」は今市扇状地を活動の中心として、湧水地の状況や周辺動植物の観察を自主的な取り組みとしておこない、水との共生について考えながら、豊かな湧水を守っていくために活動しています。一緒に活動される方を募集しています。

活動内容：湧水地調査（年4回）

募集対象：湧水に興味がある健康な方で自動車を保有し運転できる方

募集人数：5名程度

申込み：環境課へ電話申込み



クリーンセンターからのお知らせ

◆日光市クリーンセンター環境保全連絡協議会が開催されました【平成23年1月31日】◆

日光市クリーンセンター環境保全連絡協議会（周辺10自治会で構成…会長：高橋務緑町自治会長）が開催されました。会議では事務局からクリーンセンターの運営状況について稼働状況や排ガス等測定結果が報告され、施設運営が順調であることが確認されました。今後も定期的に会議が開催されます。

また、当協議会においてクリーンセンターの竣工と合併5周年を記念して植樹を行うことを決定しました。



◆排ガス等の測定結果◆

市民の皆さんに施設の現状を理解していただくために、排ガス等の測定結果をお知らせします。いずれの項目も、国の基準値を下回っています。

○ 排ガスの測定結果 (H22.12.1試料採取)

項目	単位	1号煙突	2号煙突	協定基準値	国の基準値
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0084	0.0033	0.05以下	0.1以下
ばいじん	g/m ³ N	0.003	0.001未満	0.01以下	0.08以下
塩化水素	ppm	40	32	43以下	430以下
硫黄酸化物	ppm	5未満	5未満	30以下	約3,000以下
窒素酸化物	ppm	26	22	50以下	250以下
一酸化炭素	ppm	4	18	-	30以下

※ ng-TEQ/m³N

(1) n g (ナノグラム) …10億分の1 g

(2) TEQ (毒性量等) …ダイオキシン類は種類によってそれぞれの毒性の強さが異なり、ダイオキシン類の量を毒性の最も強い2,3,7,8-TeCCDの毒性を「1」としたときの換算値

(3) m³N (ノルマルリュウベイ) …気温0℃、1気圧の状態における1 m³

※ ppm…100万分の1

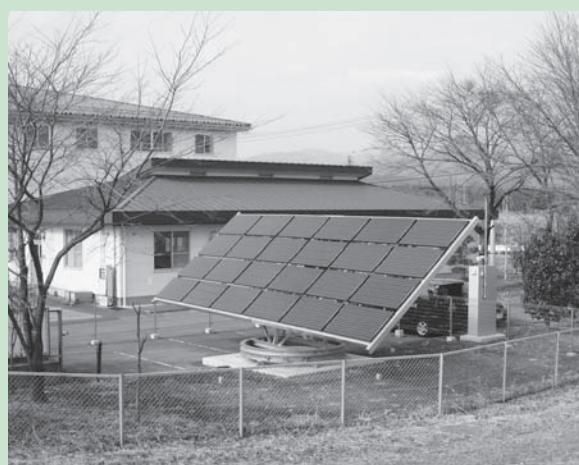
試料採取期間：H22.11.24～11.30
採取地点：平ヶ崎テニスコート脇

○ 周辺環境モニタリング大気質調査結果

項目	単位	今回測定値	建設前測定値	国の基準値
ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.008	0.014	年平均値0.6以下

※ pg (ピコグラム) …1兆分の1 g

※建設前測定試料採取期間H17.12.20～12.26



リサイクルセンターに太陽光発電システム設置

リサイクルセンターは、不燃ごみ・粗大ごみ・資源物を処理しています。市では、地球温暖化への取り組みとして、国のグリーンニューディール補助金を活用しセンターの省エネ化工事を実施しました。

設置した太陽追尾型の太陽光発電システムは、プログラムによって太陽の動きに合わせて稼働し、効率よく光を取り込むことができます。発電能力は4 kWで、年間約6,200 kWの発電量を見込んでいます。

また、同事務所内に、消費電力が少なく長寿命のLED蛍光灯を導入しました。年間のCO₂削減効果は、太陽光発電装置が約2.1トン、LED照明が約1.4トンで、計約3.5トンの削減を見込んでいます。